

診療科目 ● 放射線医学

プログラム責任者：井上 登美夫

附属病院	放射線科 / 放射線部
教授	幡多 政治 (放射線科 / 放射線部部长)
准教授	金田 朋洋
講師	小池 泉、川野 剛
助教	米山 智啓、吉田 啓介、日野 彩子、糟谷 健夫、海津 久
附属市民総合医療センター	放射線部
病院長 / 主任教授	井上 登美夫
教授	竹林 茂生 (放射線部部长)
講師	関川 善二郎
助教	西井 俊晶
附属市民総合医療センター	放射線科
准教授	荻野 伊知郎 (放射線科部長)

本プログラムの特徴

臨床放射線医学（放射線診断、核医学、放射線治療）領域の研修を希望する若手医師のためのコースです。3年間の研修カリキュラムが用意され、終了後4年目に日本医学放射線学会の放射線科専門医資格を取得することを目標とします。
 附属病院、附属市民総合医療センターまたは協力病院にて、放射線診断、核医学および放射線治療について、基礎的な分野から専門的な領域に至るまで、段階的な研修を行います。原則として、3年間のうち1年は附属病院で研修を行い、放射線診断および核医学の画像診断法や検査手技について、指導医によるマンツーマン指導の研修を行い、放射線治療については、外来と病棟で研修を行うことによって、放射線治療の適応や治療計画・照射法などを全般的に学びます。
 その他、大学院への進学、国内外の留学などの希望があれば相談に応じます。

目 標

放射線診療における診断・治療の基礎を習得し、放射線科専門医の取得に必要な知識を身につける。その後の診断・治療分野の専門医取得に向けた素養を身につける。
 到達目標として、
 1) 放射線診療における放射線の適正な取り扱いができ、被曝に関する知識を習得し、防護を実践できる。
 2) 画像診断において、基本的な症例の検査の適応が理解でき、診断ができる。
 3) 画像診断において、基本的な検査手技を行うことができる。
 4) 放射線治療において、基本的な症例の放射線治療の適応が理解でき、治療計画ができる。
 5) 放射線治療において、放射線障害を理解し、予防と適正な対応できる。

目標とする学会認定専門医資格

日本医学放射線学会放射線診断専門医

日本医学放射線学会放射線治療専門医

日本核医学会専門医+日本医学放射線学会放射線科専門医

主な協力病院

横浜市立市民病院、横浜市立脳血管医療センター、神奈川県立がんセンター、神奈川県立こども医療センター、神奈川県立循環器呼吸器病センター、神奈川県立足柄上病院、横浜労災病院、横浜南共済病院、済生会横浜市南部病院、横浜保土ヶ谷中央病院、横浜市総合保健医療センター、小田原市立病院、茅ヶ崎市立病院、藤沢市保健医療センター、ゆうあいクリニック、湘南鎌倉総合病院、国立がん研究センター病院、国立がん研究センター東病院、国立国際医療研究センターなど

診療科のホームページ URL	担当者・連絡先
http://www-user.yokohama-cu.ac.jp/~radiolog/	医局長 吉田 啓介 radikyok@yahoo.co.jp

診療科の実績

画像診断モダリティの進歩とフィルムレス化、各診療科の専門化に伴い、放射線画像診断における放射線診断専門医の役割は日々重要性を増しています。そのことは当院でも同様で、すべてのコンピュータ画像および依頼のある画像に対してのレポートをPACS-reportシステム上で実施しています。このことにより、病院内の全ての画像を一元的に管理しながら全診療科の医師とともに患者さんの診療に加わっています。また、消化器外科系を主とした各種IVR（悪性腫瘍に対する動注化学療法やカテーテルリザーバの留置、止血を目的とした緊急塞栓術など）を主体的に実施しています。

放射線治療は、手術、化学療法と並び悪性腫瘍に対する治療の三本柱の一つですが、近年その重要性はさらに高まっています。特に、他の治療法と比較し、治療後の生活の質（Quality of Life：QOL）が高く保たれることが大きな特徴です。附属病院と附属市民総合医療センターを合わせると、年間の放射線治療患者数は1,200人を超え、最先端の放射線治療装置・技術を駆使して、関連科との密接な連携のもと、常に高精度で安全性の高い治療が行われています。放射線治療専門医や放射線治療専任技師などのスタッフを整えた神奈川屈指の修練機関として、質の高い研修が受けられるよう環境が整えられています。

指導医から一言



井上教授

横浜市立大学の放射線医学教室は、“近未来の放射線医学のあり方”を求め、それに携わる多様な人材を育成する教室を目指しています。臨床放射線医（画像診断医及び放射線腫瘍医）の専門医育成を軸に、放射線生物学・放射線腫瘍学・画像診断学の知識と技術を駆使し、トランスレーショナルリサーチを行う研究者、PET/CT、MRI/MRS、MDCTなどをバイオマーカーイメージングとして捉え、クリティカルパスリサーチあるいは個別化医療の実践を目指す臨床研究者、放射線関連医療行政を志す人材など多様な人材育成を目指します。“患者さんの視線にたった医療を目指す”ことを教室員共有の理念とし、“やさしく思いやりのある先端医療の担い手”となるべく、横浜・神奈川の地域はもちろんのこと、国内外に広く活躍できる医師になっていただきたいと願っております。

シニアレジデントからのメッセージ

私は放射線科シニアレジデント2年目です。初期研修終了後、横浜市立大学放射線科に入局させていただきました。後期研修医として多少責任のある立場になり、焦ることも多いですが忙しく楽しい生活を送っています。業務内容は画像診断に加えて、CT/MRI、核医学の注射番、IVRなどに従事しています。大学病院という施設が一般的な疾患はもちろんのこと珍しい疾患や複雑な症例も経験することができます。放射線科は全身の臓器の知識が必要で勉強する事が多く大変ですが、知識・経験の豊富な先生方から細かく指導を受ける事ができます。当科に少しでも興味がある方、是非一度見学に来てください。そして一緒に働きましょう。（平成21年卒、卒後7年目、匿名希望）

私は市中病院で2年間初期研修の後、放射線治療医を目指して、横浜市大放射線科に入局しました。現在附属病院でシニアレジデント2年目として勤務しています。入局1年目は勉強のため診断部に所属し、読影やIVRの研修をさせていただきました。当初は右も左も分からない状態でしたが、経験豊富な上司の先生方がとても優しく、毎日man to manで教えてくださるので、大変有意義で勉強になった1年間でした。そして入局2年目の今年からは、念願の治療部に所属し、診療に従事しています。多岐にわたる全身の癌を診なければならぬので、毎日勉強の連続ですが、診察のたびに治療効果を実感することも多く、よい先輩方に恵まれて、とても充実した毎日を送っています。近年この分野の技術の進歩、適応の拡大は目覚ましく、今これほどまでに将来有望な分野は、かなり稀ではないかと思えます。診断と治療のどちらの方向に進むかを、入局して実際に診療に携わってみてから決めることができるのも、放射線科の魅力のひとつです。私は社会人大学院生のため、夕方にはときどき講義を受けたりすることもあります。医局全体で支えてくださる雰囲気があるので、金銭的にも時間的にも余裕を持って生活することが出来ています。治療も診断も、あらゆる臓器の知識が必要とされるため、覚えることは膨大ですが、知れば知るほど奥が深く、楽しくなるので、一生飽きることなく仕事が出来ると思えます。興味を持った方はぜひ一度見学に来てください。横浜で楽しく私たちと一緒に働きませんか？（平成21年卒、卒後7年目、高野 祥子）

私はシニアレジデント1年目です。市中、大学病院での初期研修を経て今春市大の放射線科に入局しました。今は治療部門で、全身の癌の放射線治療を経験させて頂いています。

放射線科と聞くと読影以外何をしているのかよく分からない、地味な科のイメージがあるかもしれませんが、CTやMRI、PET検査がルーチンになりつつある今日この頃、日々増えていく全身の画像読影をこなして内科外科の先生達の診療を支え、時には血管を刺して腹腔内の出血を止め、また時にはX線や電子線を操り切らずに痛みのない癌治療を行う、それが放射線科です。地味なように見えてやれる事は多いです。全身臓器の勉強ができるので飽きはないと思います。また診断部門と治療部門と、二つを経験しながら進路を選ぶ事もできます。どちらも今後の医療において需要が高まっていく分野です。興味がわいた方は是非一度見学してみてください。（平成22年卒、卒後5年目、伊藤 英子）

私は放射線科シニアレジデント1年目です。放射線科は画像診断部門と治療部門の2部門があります。私は将来どちらに進むかまだ悩み中であり、両部門を半年ずつローテートさせて頂くことになりました。両部門で研修できるのは当後期研修プログラムの大きな利点だと思います。

現在は診断部門に所属しています。業務内容は画像診断に加え、CT・MRI・核医学の注射番などです。読影は大学病院という施設が貴重な症例を沢山経験でき、経験・知識が豊富な先生から丁寧な指導を受けることができます。興味を少しでもお持ちの方は是非見学に来てください！（平成22年卒、卒後6年目、匿名希望）

私は初期研修を他大学（神奈川県外）のプログラム（1年目：研修協力病院、2年目：大学病院）で修了し、今年度から後期研修医として横浜市立大学附属病院放射線科で勤務しています。出身地も出身大学も県外であるため、この新しい環境にうまく馴染めるのかが何しろ不安でした。しかしそんな不安も杞憂に終わり、みなさんととても早く受け入れて下さっています（と私は思っております）。

私と同じような状況で進路に迷っている方もいらっしゃるかと思います。ぜひぜひ一度遊びに来てみてください！（平成22年卒、卒後6年目、匿名希望）